

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社

コード番号 9610 URL <http://www.wlw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森 捷三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グローバルコーポレート本部本部長 (氏名) 梶本 知大

TEL 03-6381-0234

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,175	8.3	139	—	152	—	133	—
24年3月期第3四半期	2,008	△14.1	10	—	△25	—	△19	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 148百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △15百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	27.88	—
24年3月期第3四半期	△4.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	2,170	1,332	60.8	275.45
24年3月期	2,184	1,188	53.6	244.37

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,320百万円 24年3月期 1,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,151	8.2	252	137.7	262	219.5	233	174.1	48.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	4,793,680 株	24年3月期	4,793,680 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	365 株	24年3月期	230 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	4,793,358 株	24年3月期3Q	4,793,450 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢の変化等の不確定要素により実際の業績が記述の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ①業績の概要

当第3四半期連結累計期間は、ビジネスのグローバル化に適切に対応、海外事業は欧米を中心に順調に推移、日本国内事業も経営の合理化効果が現れ始めました。

当第3四半期連結累計期間の売上増（対前年同期比8.3%）に加え、営業利益の大幅増を達成することができました。

現在、グローバルビジネス市場での事業活動を適切に且つ積極的に進めている状況下にあります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高21億7千5百万円（対前年同期比8.3%増）、営業利益1億3千9百万円（前第3四半期連結累計期間は1千万円の営業利益）、経常利益1億5千2百万円（前第3四半期連結累計期間は2千5百万円の経常損失）となっております。また四半期純利益は1億3千3百万円（前第3四半期連結累計期間は1千9百万円の四半期純損失）となりました。

#### ②セグメントの業績は、次のとおりであります。

##### (イ) 国内

合理化効果が現れ、今期、前期、前々期と営業損失は大幅に改善されました。自動車、医薬、金融業界からの引き合いが活発で、特に外資系企業からの人材育成関連の受注が多くある半面、国内企業からの受注は減少いたしました。

3事業（HRD-Human Resource Development, DA-Data Analytics, ICT-Information Communication Technology）での国内市場展開は成果が表れ始めた段階にあります。

この結果、売上高9億1千6百万円（対前年同期比3.6%減）、営業損失2千7百万円（対前年同期比73.8%減）となりました。

##### (ロ) 北米

事業は順調に推移、特に直販部門（NAS-National Account Sales）は既存顧客からのライセンスビジネスが好調なうえ、新規顧客からのビジネスを獲得することができました。グローバル人材育成が中心で営業利益にも貢献する結果となっています。

この結果、売上高10億6千5百万円（対前年同期比19.6%増）、営業利益7千3百万円（対前年同期比27.0%増）となりました。

##### (ハ) 欧州

売上はフランスが倍増、イギリスは前期と横ばいの状況でしたが、営業利益は増加しました。また、ロシア、北欧、中東と営業活動を拡大する段階にあります。

この結果、売上高3億3千5百万円（対前年同期比29.6%増）、営業利益3千7百万円（対前年同期比137.2%増）となりました。

##### (ニ) 中国

売上、営業利益とも増加を見ることができました。

グローバル顧客に加え、現地企業からの引き合いが実績に結びつきました。

この結果、売上高1億7千9百万円（対前年同期比40.1%増）、営業利益4千4百万円（対前年同期比60.4%増）となりました。

##### (ホ) アジア・パシフィック

オーストラリアは横ばいに推移し、インドがやや失速しましたが、アジア地区の代理店からの収入は増加しました。

この結果、売上高1億1千6百万円（対前年同期比5.7%減）、営業利益6百万円（対前年同期比65.0%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産・負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第3四半期連結累計期間末における流動資産の残高は、15億2百万円（前連結会計年度末は14億6千7百万円）となり、3千4百万円増加しました。これは、主に現金及び預金の増加6千6百万円があったことによるものです。

##### (固定資産)

当第3四半期連結累計期間末における固定資産の残高は、6億6千7百万円（前連結会計年度末は7億1千7百万円）となり、4千9百万円減少しました。これは、主に投資有価証券の減少1千4百万円があったことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結累計期間末における流動負債の残高は、7億5百万円（前連結会計年度末は8億5千2百万円）となり、1億4千6百万円減少しました。これは、主に前受金の減少4千4百万円、買掛金の減少3千5百万円があったことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結累計期間末における固定負債の残高は、1億3千2百万円（前連結会計年度末は1億4千3百万円）となり、1千1百万円減少しました。これは、主にリース債務の減少9百万円があったことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産の残高は、13億3千2百万円（前連結会計年度末は11億8千8百万円）となり、1億4千3百万円増加しました。これは、主に四半期純利益の計上により利益剰余金が1億3千3百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表した連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前々連結会計年度に3億8千9百万円の営業損失を計上しております。これは、平成20年下半期から顕著となった経済状況悪化の影響の為、売上高が減少したこと及びCC事業の営業損失が多額に発生していたことが大きく影響しております。前連結会計年度は1億6百万円、当第3四半期連結累計期間は1億3千9百万円の営業利益を計上しておりますが、当社は依然、当第3四半期累計期間において2千6百万円の営業損失となり、継続して営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる状況が存在しております。

当社は、下記の経営改善策を実施することで収益構造を改善し、当該事象の解消に向けて取り組んでおります。

- ・内製化による外注費の削減。
- ・国内 HRD事業において、営業組織とソリューション組織の連携を更に強化することによる大口顧客への営業展開。
- ・資金繰安定のためCC事業譲渡後の新中期計画を策定し、取引金融機関の理解を得ております。
- ・経費削減の更なる実施。

今後は、経営改善策を実行することで、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	874,857	941,592
受取手形及び売掛金	548,776	492,759
たな卸資産	29,206	51,147
その他	41,808	69,989
貸倒引当金	△26,953	△52,862
流動資産合計	1,467,694	1,502,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	149,799	139,506
工具、器具及び備品（純額）	22,070	22,681
土地	60,725	60,725
リース資産（純額）	19,475	18,253
有形固定資産合計	252,070	241,165
無形固定資産		
ソフトウェア	11,447	4,656
リース資産	23,119	15,623
その他	858	785
無形固定資産合計	35,424	21,064
投資その他の資産		
投資有価証券	200,449	185,612
敷金及び保証金	104,052	100,851
長期前払費用	103,270	101,998
その他	28,624	23,559
貸倒引当金	△6,800	△6,800
投資その他の資産合計	429,595	405,220
固定資産合計	717,089	667,449
資産合計	2,184,783	2,170,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,142	118,058
短期借入金	181,000	181,000
1年内返済予定の長期借入金	32,800	4,000
未払金	11,298	9,461
未払消費税等	13,083	13,142
リース債務	16,847	17,491
未払法人税等	8,948	10,879
賞与引当金	61,801	46,953
役員賞与引当金	7,486	6,199
繰延税金負債	600	—
未払費用	157,848	140,591
前受金	184,392	139,906
その他	23,314	17,910
流動負債合計	852,559	705,590
固定負債		
リース債務	30,119	20,413
資産除去債務	47,694	48,653
繰延税金負債	50,650	49,749
退職給付引当金	4,398	4,756
その他	10,581	8,433
固定負債合計	143,442	132,004
負債合計	996,001	837,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	670,368	670,368
資本剰余金	505,122	505,122
利益剰余金	△147,486	△13,863
自己株式	△136	△157
株主資本合計	1,027,868	1,161,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,592	△2,131
為替換算調整勘定	147,118	160,972
その他の包括利益累計額合計	143,526	158,841
新株予約権	4,620	—
少数株主持分	12,768	12,168
純資産合計	1,188,782	1,332,479
負債純資産合計	2,184,783	2,170,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	2,008,221	2,175,840
売上原価	698,690	704,667
売上総利益	1,309,531	1,471,173
販売費及び一般管理費	1,298,557	1,331,485
営業利益	10,974	139,688
営業外収益		
受取利息	1,414	1,411
受取配当金	1,000	1,000
受取使用料	9,000	9,000
為替差益	—	11,579
賃貸料収入	646	753
雑収入	3,169	3,043
営業外収益合計	15,229	26,786
営業外費用		
支払利息	4,220	3,157
為替差損	26,834	—
持分法による投資損失	49	1,707
投資事業組合運用損	2,962	1,556
減価償却費	13,510	4,785
賃貸収入原価	646	753
雑損失	3,647	2,143
営業外費用合計	51,868	14,101
経常利益又は経常損失(△)	△25,665	152,373
特別利益		
固定資産売却益	43	—
新株予約権戻入益	—	4,620
退職給付制度改定益	954	—
特別利益合計	997	4,620
特別損失		
減損損失	810	—
関係会社株式売却損	13,659	3,573
特別損失合計	14,469	3,573
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△39,137	153,420
法人税、住民税及び事業税	17,894	23,892
法人税等還付税額	△1,628	△2,012
法人税等調整額	△35,023	△1,483
法人税等合計	△18,757	20,397
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△20,380	133,023
少数株主損失(△)	△816	△600
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19,564	133,623

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△20,380	133,023
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2,080	1,461
為替換算調整勘定	△9,875	11,587
持分法適用会社に対する持分相当額	17,220	2,267
その他の包括利益合計	5,265	15,315
四半期包括利益	△15,115	148,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,299	148,938
少数株主に係る四半期包括利益	△816	△600

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。